

# 上川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

町内では、住民の高齢化が進んでおり、これに合わせて自家用車などの生活の足を持たず、日常生活に支障を来している住民も増加している。また、自家用車を所有していても、運転に危険を感じ、使用できない高齢者もいる。これらの状況を踏まえ、公共交通を軸としたまちづくりによる地域活性化などを行う上でも、コミュニティバスを含めた公共交通の確保が不可欠である。住民ニーズに合った、新たな交通サービスの提供と公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための交通環境を確保することを目指している。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

通院や買い物、入浴などの生活面での利便性を確保し、日常生活及び地域の活性化に資する公共交通を確保する。

◆コミュニティバスの利用者数(目標) 年間2,700人以上

※車両減価償却費等国庫補助金の定量的な目標も同上

## 令和2年度事業概要

上川町コミュニティバス  
上川駅前～医療センター・ふれあいセンター～上川駅前(東ルート・西ルート 平日5便)

【車両減価償却費等国庫補助】

## 地域公共交通の現況

- ・JR石北本線(上川駅)
- ・道北バス(株)  
(地域間幹線系統・生活交通路線)
- ・越路線デマンドバス(自家用有償運送)
- ・障害者通所送迎(福祉輸送)

## 協議会開催状況

- (1)平成30年8月24日(金)上川町地域公共交通会議  
・コミュニティバス実証運行【第1回】に向けて
- (2)平成31年1月15日(火) 上川町地域公共交通会議  
・コミュニティバス実証運行【第1回】結果・第2回に向けて
- (3)平成31年3月26日(火)上川町地域公共交通会議  
・コミュニティバス実証運行【第2回】の結果について
- (4)令和元年6月4日(火)上川町地域公共交通会議  
・上川町コミュニティバスの本格運行について  
・地域内フィーダー系統確保維持計画について
- (5)令和3年1月13日(水)上川町地域公共交通会議  
・上川町コミュニティバスの実施報告について  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

## 令和2年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

#### ○プロセス

- ・平成30年度に2度の実証運行を実施。実証運行の分析及び町内会役員との意見交換などを通して本格運行の経路及び時刻表を作成。

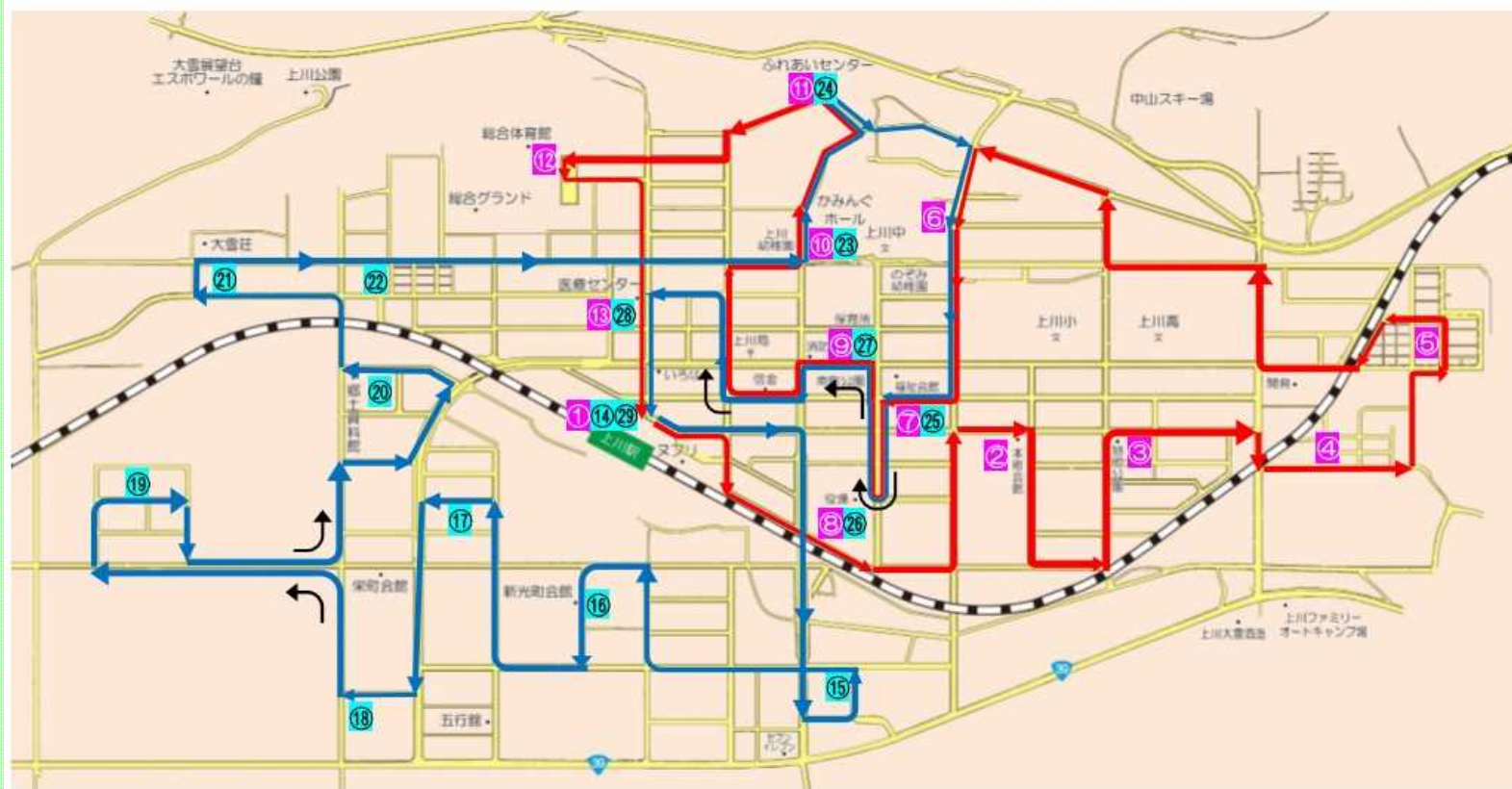
#### ○創意工夫

- ・高齢者の入浴施設である「ふれあいセンター」や生涯学習の拠点である「かみんぐホール」、町内の病院「医療センター」へのアクセスを重視。
- ・3便目及び5便目については、逆回り運行とし、各施設の利用後に自宅へ帰れる手段も確保した。

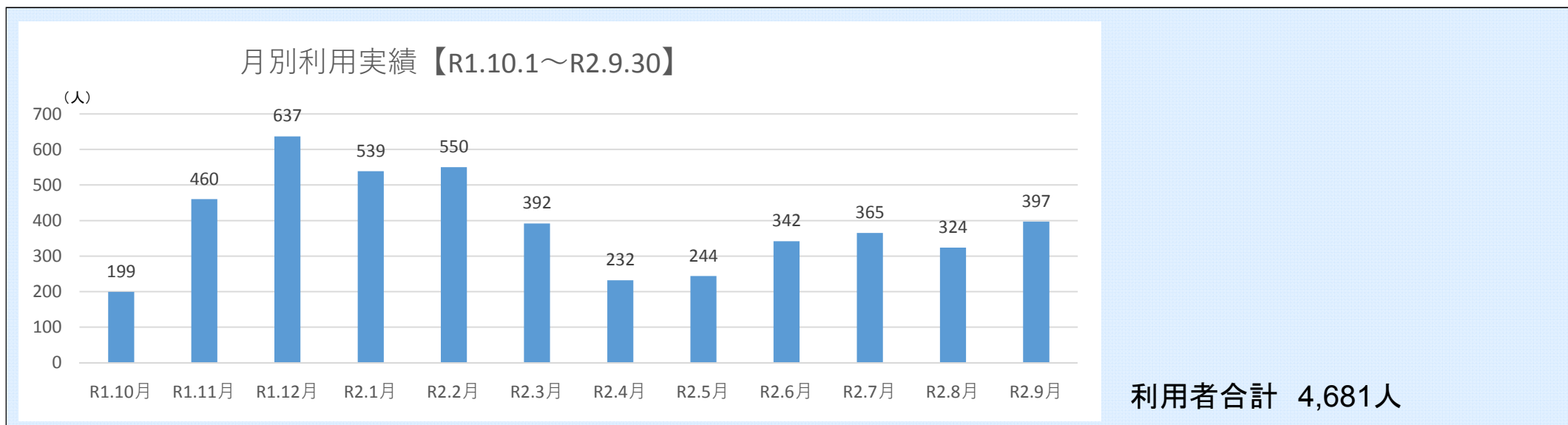
### 2) 運行系統

## 上川町コミュニティバス運行経路

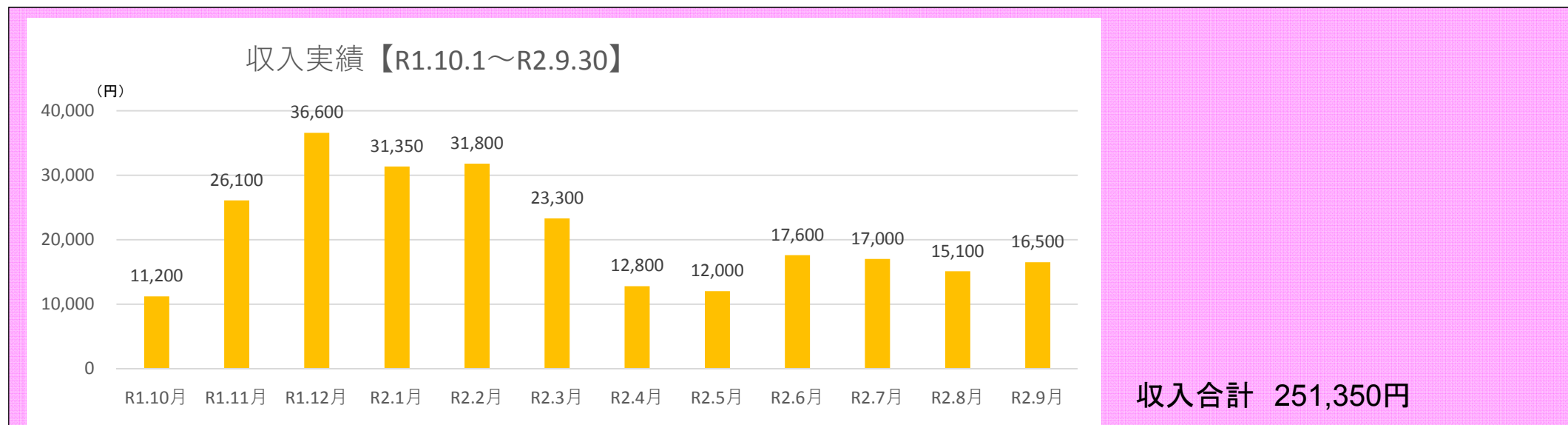
東ルート(赤)→西ルート(青)



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

○計画通り適切に運行することができた。

○以下のとおり、計画どおり事業を実施した。  
各家庭に掲示用の路線図・時刻表を作成し配布した他、ポケット版の時刻表等を作成し、バス車内及び各公共施設等に設置した。

## 7) 事業の今後の改善点

利用者や各町内会等に聞き取りを行い、運行計画等を随時改善する。

## 6) 目標・効果達成状況

利用者が想定を大きく上回ったことにより、対象期間の輸送人員は目標2,700人に対し4,681人であった。

車両の取得時期は予定どおり達成できた。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・利用者数の目標値を大幅に上回っており、今後新たな目標値を設定するにあたっては、持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。
- ・今後も継続的に維持していくためにも、地域公共交通計画を策定することを強く期待する。